

第1回 小美玉市新まちづくり構想実施計画策定委員会会議結果

1. 日 時：令和7年7月23日（水）10：00～11：30
2. 場 所：本庁2階 政策会議室
3. 出席者：委 員：熊澤委員、長島委員、石井委員、桐原委員、重藤委員、黒羽委員、岩本委員、
本田委員、深谷委員、（欠席：山西委員）
小美玉市：島田市長、倉田産業経済部長、朝比奈都市建設部長、
榎戸商工観光課長、山口商工観光課参事、
真中特定プロジェクト推進課長、高田特定プロジェクト推進課参事
事 務 局：商工観光課 清水係長、才川主幹、廣山主幹
特定プロジェクト推進課 富田係長、重藤主幹
委託事業者：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー（合）
河野氏、佐藤氏、杉島氏、嵯峨山氏

【主な内容】

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ
島田市長あいさつ
4. 委員自己紹介
5. 小美玉市新まちづくり構想実施計画策定委員会設置条例の確認 資料1
6. 委員長及び副委員長の選出 資料2
委員長 熊澤 貴之氏
副委員長 深谷 一広氏
7. 協議事項
 - （1）新まちづくり構想等の内容について
 - ・小美玉市新まちづくり構想 資料3-1
 - ・百里飛行場新交流拠点整備基本計画（百里飛行場前） 資料3-2
 - ・小美玉市まちづくり構想基本計画
 - 空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画 — 資料3-3
 - ・空のえき「そ・ら・ら」民間活力の活用について 資料3-4

【質疑・意見要約】

- （委 員）空のえき「そ・ら・ら」のチャレンジショップについて、利用する人やお客さんが入るのにも手狭であり、うまく活用されていないと思いますが、拡張等はあるのでしょうか。
- （事務局）施設につきましては、今後募集する指定管理者の方から提案をいただきまして、有効活用していただく形を考えておりますが、現時点での拡張等は考えておりません。
- （委 員）今現在、県道の方からの排水が、拡張計画の臨時駐車場の手前で止まっているので、大雨の際には溢れてしまって、手前の畑の方からも苦情が毎回ありますので、調整池までの排水整備も一緒に進めていただきたいと要望します。

【質疑・意見要約】

- (委 員) 空のえき「そ・ら・ら」と新交流拠点って言うのですかね。順序として、空のえき「そ・ら・ら」を第1期って考えて、そのあと、新交流拠点の建物や北山池の用地の方の工事というような形になるのかとか、その辺りのスケジュールをちょっとお聞きしたい。
- (事務局) 関係機関との協議の状況によりますが、新交流拠点の方は、土地が県の都市公園の中でございますので、県の方から都市公園のまま市に一部を譲渡していただくことを想定しております。そのため、事務手続きのみで進みますので、土地の取得が交流拠点の方が先になると思います。「そ・ら・ら」の方は民地の買収でございますので、そのスケジュールからしますと、やはり新交流拠点の方が先行してくるのかなと感じているところでございます。
- (委 員) 順序としては新交流拠点の方が早いということなのですか。
- (事務局) 今申し上げました土地の取得という観点からしますと、新交流拠点の方が先行するのではないかと考えております。
- (委 員) この新交流拠点の脇に北山池があるのですが、ここは話によりますと絶滅危惧種、何か珍しいトンボがいるということで、ここは開発が多分できないというふうなお話を聞いているのですが、ここら辺のその進め方というのは、現在どういう形になっているのですか。
- (事務局) 現在の計画としましては、県から移譲を受ける予定の2.2ヘクタールの方を先行して進める計画としておりますので、北山池の整備については未定となっております。
- (委 員) 北山池の絶滅危惧種に対する対応とかは、何か法的なものが何かかかってきたりすることがあるのですか。環境アセスメントとか何かとか、いやないなら特にいいのですが、また押さえていればいいのかと思いますが、もしありましたらお願いします。
- (事務局) こちらの北山池ですが、百里飛行場民間共用化事業の環境アセスメント調査では、絶滅危惧種のオオモノサシトンボが確認されております。この動物の影響もあり、県道茨城空港線も盛土から橋梁に変更されております。当時の北山池は、あまり改変しないようにという方針が出されておりますので、今後も保全区域として検討してまいりたいです。なお、法的な規制は今のところはないと考えています。以上でございます。
- (委 員) 保全区域というところだと思うのですが、この新交流拠点整備計画には、かなり場所的には近いように思いますが、特にそれは問題なく進めることができるっていう理解でよろしいそうですか。
- (事務局) はい。そのとおりです。すでにこちらは、茨城空港公園のシンボル広場として整備してございますので、そこを改変する計画になりますのが、特に指摘等はいただいていないという状況でございます。
- (委 員) ありがとうございます。公園の改変というところでやるから大丈夫だって話ですね。はい、理解しました。ありがとうございます。
- (委 員) 防衛省関連の補助金を使うというふうなお話を聞いているのですが、「そ・ら・ら」と新交流拠点かな、これらの計画がすべてまとまらないと防衛省の補助金の対象にはならないということなのですかね。
- (事務局) 北関東防衛局には、計画概要、現在のスケジュールや対象地等、こういうことやりたいということとはすでに下協議してございますので、全体の計画としては認めていただいていると考えてございます。具体的にどの事業に、どれだけ補助金をいただけるのかということは、今後、協議予定でございます。
- (委 員) はい。わかりました。今後会議が進んでいくと思うのですが、その都度、またいろいろと質問や要望をさせてもらいます。私もこの地元にいるのですが、「そ・ら・ら」については、地元の方にも、いつになったらできるのか、というようなことを言われており、随分前から計画されているが一向進んでないというようなことで、地元の方も私らもよく話されるのですが、今お話聞いてみて、やっこの軌道に乗って進むのかなと、こういうふう to 思っていますので、よろしくお聞きしたいと思います。

(委員)「そ・ら・ら」の方ですけど、先ほどの概要版で見たときに、体験農園とかミート工房、チーズ工房、地ビール工房とか、またここに建物が建っているような計画が見られるのですが、実際今現在の「そ・ら・ら」というところに建物が建っていて、いるところがなくて滞在しないで帰っていくような感じが今まで見受けられていたわけなんですけど、ここにさらに建物を建てるのではなく、例えば、埼玉県にある公園のように広く芝を植えて、そういうところに屋根なんかつけてあって、バーベキューなんかできるような、子供たちがいろんな遊びができるような形で、私も何回か行ったんですけど、かなり平日も人が来ていて時間を潰していつているなっていう感じがするのですよね。この狭いところにまたこういう施設を整備して、実際にこの体験農場を体験されるかどうか、そういう市場調査とか、チーズ工房について、私たちでも常陸太田市に見に行って、これも失敗しているっていうのがね、前にもお話したわけでありますから。色々なものがあるのはいいのでしょうけど、散らばってしまって、何が目的っていうか、やっぱり、お子さんとかそういった方が来て、この空港と空港側の新しい施設を作ると思うので、建物はこっちでも十分じゃないかなと思うので、こういう広い場所を使って、人が来て駐車してこの辺で遊んでいけるような、あんまりね、そこにお金かけなくても、補助があるのでしょうけど違った方向にもつけていただきたいなと思うのですが、どういう計画なのかをお願いします。

(事務局) はい。ご質問ありがとうございます。今回の計画の内容についてですが、我々の方で考えておりますのが、こちらの各種工房につきましては、見直しが必要だということを考えております。委員がおっしゃるように、こちらに、滞在する時間を延ばしたいという、そういう機能で、各種工房や体験農場を盛り込んでいるところでございますので、委員のご意見があった、例えば屋根をつけたちょっとした広場なんていうのは、まさに今後の検討の中で、議論を尽くしていきたいというところでございますので、引き続きご意見等いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員) 私の方から補足させていただきます。「そ・ら・ら」の方と新交流拠点の2つを進めるのですが、基本計画の導入機能にチーズ工房や地ビール工房などいろいろ入っています。一方で、百里の方は宿泊施設等が入っていますが、基本的に先ほど事務局の方で深堀ってありましたが、これ深堀だけじゃなくて、基本的に軌道修正、周りの民間の施設にどういった類似のものが出来たりしたとか、社会情勢の変化の中で、より良いものっていうことで、この委員会の中では、基本計画の中身をコンクリートではなく、導入機能についても、柔軟にこんなアイデアがあるというところ、これはやめたほうがいいのではないかとといったものも、そこは積極的に提案していただいて、基本計画の導入機能を修正するということも想定して、ご意見等賜ればと思います。

(委員) そんな中で先ほどおっしゃった、例えば、大きな屋根のある広場とか、最近そういった公共の交流空間が増えてきており、日常時では子供の遊び場になったり、例えば交流の場所になったり、大屋根広場の下でマルシェというか、そういったマーケットをすることができたりしながらも、非常時、災害時には防災の拠点だったりもすることがあるので、結構全国的に大屋根広場が増えてきたりはしていたりはしますね。その流れがちっとあるような感じもします。ここの内容は、一応ご意見をいただきながら修正も可能というところですので、どしどし、皆様、思われたことなどをお話いただければよいと思いますし、アイデア等がありましたらまた言っていただければと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

(委員) とても暑いので、室内で遊べる子供たちとかが遊べるところがあるといいなっていうのが、父兄の方からいろいろ出ています。私、孫がいるのですが、「そ・ら・ら」によく行くんですね。「そ・ら・ら」の円のところがちょうど、小さい子が遊んでいるのを、保護者が見ていられるスペースで安心なので、ああいう狭い空間っていうのも1つ利点であると思って、よく利用しております。でも、やはり暑いので、室内の遊具で遊べるところがあればいいなっていうのが、希望しております。そして、空港と「そ・ら・ら」が繋がるような、そういう計画が今進行しているので、とても楽しみにしております。以上です。

(委員) はい。ありがとうございます。本当に今暑い中、最近クールシェルターとか言っていますよね。そういった涼しい拠点を作っていくなんていうのも特に夏の間は大事なとこだと思いますので、そういうような発想もぜひ、加えていただけたらいいのではないかと思います。

(委 員) 今日初めて全体的なことをお伺いして、現状の共有をさせていただいたかなっていうところなので、今後事務局の方でもいろいろ調査したりとかもあると思いますし、計画を進めていく上で、県や防衛省との関係も出てくると思いますので、そういったことを含めて、現時点で施設こういうふうにかそういうイメージはまだ全然ないです。素晴らしい施設だなと思いますし、今後調査研究していく中で、私もそういった意見を言わせていただければと思います。

(委 員) 私は農業をやっておりますので、「そ・ら・ら」の直売所も最初、できた当時は、会員として入って、いろいろ農産物を出した経験はございますが、いかにしてもちょっとスペースが狭い、売り場が狭くて。今は農協さんの方でやっているみたいですが、その当時、最初130名ぐらい会員がいたのですよ。直売所に入るから申し込んで、小美玉市だけの人じゃなくて、行方市の人も入ったのですが、我々はもう小さい農家なので、商品を出しても、同じような商品を作っている人がいると、あんまり売れないっていう状況もありまして。だからもうちょっと直売所の方に関しては、他の道の駅に研修とか視察に入ったときもあるのですが、やっぱり朝から、買い物かごを持って、開店前から並んでいるっていう直売所がいっぱいあるんですね。そういう賑わいがある直売所に「そ・ら・ら」の中にも、飲食店や飲食スペースなどもできれば、もっとお客さんが来るのではないかなと思っております。

(委 員) 職員駐車場になっているところに、自転車置き場の計画があるのですよね。進捗状況をお聞きしたいのですが。

(事務局) サイクルステーションの方ですね。今後、入札を行いまして、建設を今年度中に実施していく予定であります。建設場所につきましては、県道沿いの桜が植わっている並木があるところなのですが、そちらに建設を予定しております。

(委 員) 建物を作ってもね、今後どういう形で利用するか、これが一番大切なんですよ。せっかくお金かけて作るのですから、よくやっていただきたいなと思います。以上です。

(委 員) 私百里基地の代表という形で今回、委員を受けさせていただきました。小美玉市長も日頃から、地元と基地との共存共栄ということをお話しされております。基地としましては、小美玉市の発展に寄与できるよう、ご協力させていただければと思っております。ご説明いただいた中で、確認をさせていただきます。百里飛行場前の基本方針の中で、基地機能の維持という、キーワードが何ヶ所か出てきますが、これはどういうことをイメージしたものなのか、ご教示いただければと思います。

(事務局) 基本方針の百里飛行場のところに、防災の対応と基地機能の維持というふうに記載してございますが、特にどうするかじゃなくて、自衛隊との共存といいますか、そういう意味で書いてあると思いますので、特に何かをどうするという意味では特にはないと思います。

(委 員) はい。わかりました。防災の対応につきましては防災の拠点として、こちらが機能するというふうに想像ができたのですが、基地機能というのは想像できませんでした。今後どのようなニーズがあるか、意見交換をさせていただきたいと思います。

(委 員) あと、もう1点確認がしたかったのが、交流施設の中の交流スペースですけれども、実際にこういった方々をターゲットとしているのか、こういった交流を考えているので30m×30mの交流スペースになっているのですといったところの、算出根拠をご教示いただければと思います。また、交流スペースという形で活用されることが想定されているということですが、今後検討となっているところで、例えば訓練移転等で米軍が来たときの交流のイメージとかそういう具体的イメージがあったら、ちょっとご教示いただければと思うのですが。

(事務局) この基本計画を策定した際の多目的イベントスペース約1500㎡というのは、バスケットコート二面分を余裕持って取れるということで、これくらいの規模があれば、通常の体育館やアリーナ的な使い方ができるかなということで、この面積を取っているのが現状であります。ただ、先ほどの説明にもありました通り、この内容も含めて、今回の実施計画の中で、よりこういった使い方ができるのか、そういったところを委員の皆さんにお話を伺いながら、施設の規模の方も、今後、実際どれぐらいが必要なのかというところを、検討を進めていければと考えているところであります。

(委 員) 分かりました。海外の軍等が百里基地に来た際に、例えば士官を対象とした交流を計画したいということであれば、過去の来基実績等、施設の規模等を算出していく上で必要なデー

タ等は可能な範囲で提供出来ると思いますので、コンセプト固めも含め、基地が協力できるところがあれば、またご相談いただければと思います。

(委員) 私から少し補足させていただきます。先ほどの基地機能の維持というところですが、3ページ見ていただきますと、基本的に共存共栄という考え方ありまして、その中で市民の皆様と自衛隊の交流場作りと、特に百里基地にまつわる様々な情報の提供とか、市民の皆さんに理解していただくという大きな意味での基地機能の維持というふうに私ども解釈しております。基地機能の維持として、具体的に何かその機能を進めるって話ではないというふうに理解しております。まさに、この4つの中のコンセプトの導入機能として入っておりますので、具体的な基地機能的なもの、そういうものではなく考えております。それからですね、次の1階2階のところですが、ここに吹き抜けなどが書いてありますが、先ほど私どもも話しました通り、ここは修正できます。検討を進める中で、吹き抜けがいいのかどうか、あと面積等についても縮小せざるをえないかもわかりませんし、1階体験スペースが140㎡でいいのかというところがありますので、例えばここにフライトシミュレータ的なものも、体験型って、基本的に百里基地の歴史とか、それ百里基地の機能とか、そういった広報的な機能を入れたいなあと考えていまして、できれば、百里基地にごぎます広報の施設ですとか、ああいったところと連携できればいいなとは思っております。ここに自衛隊の、先ほど言った情報発信機能の一環を担う施設として考えることも1つの視点かなって考えております。

(委員) 今日初めての会議出席ということで、私も概要詳しくは理解しておりませんので、ちょっと質問の方が多くなってしまうと思うんですけども、まず「そ・ら・ら」の関係で、私も何回か訪れてはいるのですが、どうしても休憩場所がやっぱり少ないと。お店で買ったら、もうすぐ帰るような状況がやっぱり多いかなというのと、やっぱり今これだけ暑いとですね、やはり屋根つきの先ほどクールシェルター的なものが絶対必要だと思うんですよね。それで、形も大事なんですけども、やっぱり太陽の位置とかよく考えてですね、大きく日陰になるような形の設計をしてもらってですね。ちょっとその分形は悪くなくても、そういう合理的なところを考えて、作るのであれば作っていただきたいなという思いが1つです。

(委員) もう1つは質問ですけども、今度はこのウェルカムプレイスですね。ここのところで、私が主として協力できるとするならば、その体験スペースとか展示とかいうところなんですけど、特にここに自衛隊の活動など百里基地の歴史などの展示ってということが書いてあるんですけども、どの程度までの歴史をこの展示するかっていう、基本的なこのコンセプトっていうのはまずお持ちなのかどうかというのと、百里基地の歴史っていうのはご存じのように古くてですね、私は百里ヶ原航空隊のことをちょっと研究とか勉強しているんですけども、資料が、笠間にある筑波海軍航空隊に比べれば全然全く集まらないというような状況なんですけれども、あそこで筑波海軍航空隊の資料館とか見た方たくさんおられると思うんですけども、いや全然桁が違うんですよね。どの程度の百里飛行場の歴史、海軍航空隊がいた時から、農地解放しての農民が開拓に入って、そのあとまた自衛隊が入ってからなのか、どの程度までのこの歴史というのを、ここで紹介するのかというのは考えないと。そうするとこの140㎡という広さが果たしてそれに合致するのかな。もう1点は、そういう広報はいいと思うんですけども、その歴史とかいうところの隣に多目的イベントプレイススペースですね。ここでどういうのをやるかわかりませんが、厳かになるようなところと、それが一緒になって本当にいいのかなと。例えば見て通り過ぎて見ていくだけの施設であればそれはそれでいいと思うんですけども、その辺の兼ね合いっていうのがちょっとイメージ的にわかりません。ですからその辺のところをちょっと現段階で結構ですので、規模等とかがある程度おわかりになればちょっと教えていただきたいなと思っています。

(事務局) 展示体験スペースにつきましてどのようなイメージがあるかですが、正直なところは、基本計画を立てたときは、そこまで具体的な検討までは至ってないのが実情でございます。実際、先ほどお話あったように、百里ヶ原航空隊があったときから長い歴史が百里基地と地元小美玉市の方にはございますので、そういったところも含めて、どこまでのものをですね、こちらの展示体験スペースに置いていくのかというところは、今後、今年度、検討させていただければなと思いますので、ぜひそこはご意見をいただきながら、計画を進めていければなと考えております。

(委員) 同じくこの多目的イベントスペースの稼働率っていうのは多分、話に上がってくる可能性

- があるので、どれだけ利用するのかというところで、利用していない時が、ずっとがらんどうっていうのがまた問題になってしまうこともあったりするので、ちょっと併せて、考えていただけるといいかなと思います。トレーニングスペースは、多分運動するスペースっぽいとこだと思うのですが、こういう運動するスペースと展示スペースってのは、静と動でこうと対極にあるんですけども。そういうのが近くにあるっていうところがね、どんな考えなのかっていうのもちょっとよく考えたほうがいいのではないかなと思いましたが。
- (事務局) ありがとうございます。その通りで多目的イベントスペースの方は当時、基本計画を立てた際には、活用予定の防衛省の補助金のコンセプトとして、地元住民と百里基地との交流とか、そういったところで、スポーツ体験とか、展示体験で交流していきましようというようなコンセプトで、この計画が進んでいたところではあるのですが、この計画を立てた後に、近隣の橘小学校の跡地の方に広場が整備されたり、そういったところで、今回こちらの百里飛行場前でやろうとしていた機能が、近隣の市の公共施設の方で賄えるような動きの方もございますので、そういったところも踏まえ、本当に必要なもの、ここに必要なものかどうかというところを皆さんの意見を踏まえながら、今年度精査できればと考えております。
- (委員) 私副委員長の立場なんですけど1つのアイディアとして、デロイトさんが作っていただいた、資料4の10ページにあるように、要は基本的ターゲットなんですね。今先ほどの黒羽委員にも、誰を対象にターゲットにするかによって、どこまで詳しく導入機能を進めるかも。必要になってくると思うんですが、1つの私のアイディアなんですけど、これちょっと、基本的に新交流拠点の方なんですけど。基本的にはこれ防衛省の補助なんで、市民皆さんの活動の場ということでこれももちろんですね。それもあるんですが、私ども、もう1つのねらいは、交流人口の拡大にぜひ、ここにたくさんの方が来訪していただきたい。空港利用者の方にもここに寄ってもらおうと、そういったのもあるんですがもう1つ、市民以外の例えば県自然博物館ってありますよね。岩井に、小中学生の自然、理科とか、遠足の場になってるんですね。私、もしここ1つね考え方として、県内の小中学生の遠足の、茨城空港来ていただいてみて、それからなかなか百里基地はいけないと思うんで、ここのイメージ、市長も言ったと思うんですが浜松のエアパーク、航空博物館というイメージありますので、ここに遠足の場で寄ってここで百里基地の歴史とか、百里基地の機能とか、そういったのを勉強していただいて、そして、「そ・ら・ら」でお弁当食べていただくと。寄っていただいて買い物して子供たちの、先ほどの本田委員の方の遊び場的なところも機能も入れたりして、そういった有機的連携の、1つのターゲット、ここを広く、そういったことも1つ考えてもいいのかなあという1つの委員としてのアイディア出しでございます。ご検討いただければと思います。
- (委員) はい。ありがとうございます。小中学生、子供たちのこの遠足の場とかあって考えとすると、多分具体的にも、楽しく学ぶ場として作っていくことが必要になってくるので、恒常的に使う、日常的に人が出たり入ってるような場所になって、1つのアイディアとしてあるんじゃないかと思いました。何か目玉となるような何か展示もあってもいいかもしれませんけども、飛行機が飛行機を置いたりとかって可能性があったりするんですかね。ちょっとわかって思いつきできましたけど。はい。何かそういう目玉となるような何か展示とか何かあったりするといいんじゃないかと思いますが。
- (事務局) まだ確定事項とか、そういうわけではなくてですね、これから委員の皆様の方に、次回以降に、考えられる他の展示館であるとか、県外の施設の事例とかをもっと具体的に示しまして、いくつか案として出させていただいて、ご相談できればと考えてございます。当然その中に、そういう飛行機の模型であるとか、シミュレーターであるとかですね、あとそういったもっと楽しくなるような子供たちがそんな要素をですね、入れていけたらと思っておりますので、ちょっと具体的にまだ何がどうとは、まだこの場でお出しできないんですけども、そういった今委員長が言われたようなことも含んでいることは確かでございます。

(3) 次回会議の日程について

日時 9月 1日 (月) 13時30分～
会場 未定

8. その他

茨城空港将来ビジョンの紹介 資料5

9. 閉 会